

公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム 2012

I. 目的・目標:

目的:

公衆衛生分野での日常業務に基づく課題解決の過程を研究活動として科学的に実行し、その成果を日本公衆衛生雑誌をはじめとする学術誌に学術論文として発表する力を養成することを目的とする。

一般目標:

研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標:

1. 研究計画書の構成を理解し、自身で作成できる
研究計画の概要、研究目的、対象者選択基準、
研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の手順、倫理的事項、
研究中止基準など、研究組織
2. 研究計画書の作成に必要な疫学原理を理解できる
疫学研究の考え方、研究デザイン
3. 研究テーマに沿った文献検索を行える
PubMed、医中誌 など
4. 研究実施時(後)に起こる問題・限界点を認識できる
バイアス・交絡、一般化可能性
5. 交絡調整に必要な統計手法を理解できる
層別化、統計モデルを利用した調整
6. 生物統計的な考え方を理解できる
統計的推定、検定、95%信頼区間、標本数の設定
7. 基本的な検定手法を理解できる
t検定、カイ二乗検定
8. 検定・推定を実際に行うことができる
9. 保健医療分野における論文構成・表現法を知り、それに則った論文を執筆できる

II. 受講対象者:

公衆衛生分野の業務に従事し、行政データに基づく研究を企画・実施し、その結果を日本公衆衛生雑誌など学術論文誌に論文投稿する意欲のある人

III. 受講者の必要条件:

疫学、統計学の基礎を学んだ経験があること。PCの基本的操作ができること。

IV. 人数:50名程度

V. 場所:京都大学

VI. 日時:8月23日(木)ー8月25日(土)

VII. 研修日程(案)

8月23日(木)

午後	12:40	受付開始
	13:00-13:10	開講にあたって
	13:10-13:40	公衆衛生学研究、社会・臨床医学研究の展開
	13:40-14:40	論文の書き方 ～日本公衆衛生雑誌への掲載を目指すには～
	14:40-14:50	休憩

14:50-15:50	研究のデザインを考えよう
15:50-16:20	データベースを用いた保健・医療の研究
16:20-16:30	休憩
16:30-17:00	文献検索法 実習
17:00-18:00	グループ分け → 課題研究計画のテーマを相談
18:30-	懇親会

8月24日(金)

9:00-10:00	研究の企画と論文作成に必要な統計学
10:00-11:30	ワークショップ 1
11:30-11:40	休憩
11:40-12:40	研究デザインのピットフォール
12:40-13:40	休憩
13:40-15:40	統計解析 実習
15:40-16:00	休憩
16:00-17:00	ワークショップ 2
17:00-18:00	カウンセリング

8月25日(土)

9:00-10:15	発表会
10:15-10:30	休憩
10:30-11:45	発表会
11:45-12:00	修了証授与

開催世話人
今中 雄一